

議 会 を 知 る

# みのかも 市議会 だより

2015.11.1

No.163

**第3回定例会**  
平成26年度各会計の決算を認定

**第2回臨時会**  
市議会の新体制決まる

## 主 な 内 容

- ◆正副議長就任のあいさつ… 2P
- ◆定例会の審議結果…………… 3P
- ◆決算審査の概要…………… 4・5P
- ◆委員会審査の概要…………… 6・7P
- ◆市政一般に対する質問と答弁  
…………… 8~15P
- ◆活動ピックアップ  
議会日誌…………… 16P
- ◆臨時会の審議結果…………… 17P
- ◆お知らせ…………… 18P

## 正副議長就任のあいさつ



議長  
山田 栄



副議長  
佐合 広和

このたびの臨時会におきまして、私たちは議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄でありますとともに、その職責の重さに身が引き締まる思いであります。

もとより微力ではございますが、公正かつ円滑な議会運営に努めるとともに、市民の皆様、議員各位の格別なるご支援を賜り、市政の発展と市民福祉の向上を目指し、誠心誠意努力してまいりたいと存じます。

さて、市議会は二元代表制の一翼を担う立場から、執行機関と力を合わせ、市民の皆様がいきいきと輝き、「住みたいまち」「住んで良かったまち」「誇れるまち」の実現に向け最大の努力をする必要があります。市民の皆様の代弁者として行政のチェック機能を果たすことはもとより、各種施策の提案等を積極的に行わなければならないと考えます。

また、議会情報の提供につきましても、インターネット中継やホームページの充実によって進められておりますが、今後も開かれた議会を目指して更なる情報発信に努めてまいります。

市民の皆様の力強いご支援、ご協力をお願い申し上げまして就任のあいさつといたします。

## 議会選出監査委員を新たに選任

美濃加茂市監査委員のうち、前任者の辞職に伴い議会から新たに 森 弓子議員が選任されました。



その他の議会構成、第2回臨時会の詳細については、17ページをご覧ください。

定例会の審議結果

平成27年

第3回  
定例会

平成26年度

各会計の決算を認定

市議会第3回定例会は、9月2日に開会し、25日までの会期24日間で開催しました。

初日は、19議案を上げし、人事案件(議第49号)、市議会会議規則の一部改正(議第50号)の2議案については、提案説明・採決を行い、その他の議案については提案説明を行いました。

9日及び10日には、代表質問を含め、14人の議員が一般質問を行いました。

11日には、各議案に対する質疑・委員会付託を行い、決算審査のため、決算特別委員会の設置を行いました。

付託された各議案の審査のため、14日及び15日に決算特別委員会、16日に文教民生常任委員会、17日に企画建設常任委員会を開催しました。

25日には、各議案に対する委員長報告・討論・採決を行い、閉会しました。

議案の審議結果

全会一致で可決・同意・認定された議案

議案番号	議案名	主な内容
議第41号	美濃加茂市収入印紙等購買基金条例	会計課にて収入印紙、岐阜県収入証紙及び郵便切手類を購入し販売するにあたって基金を設置するための条例制定
議第42号	美濃加茂市手数料条例の一部を改正する条例	番号法に伴う通知カード及び申請に基づき郵送される個人番号カードの紛失等による再交付手数料を定めるため条例改正
議第45号	平成27年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算(第1号)	3,735万7千円の増額、予算総額は64億8,685万7千円 昨年度に一般会計から繰り入れた職員給与費等の市負担分が、決算の結果超過となったため、その超過額を一般会計に返還するための増額補正等
議第46号	平成27年度美濃加茂市介護保険会計補正予算(第2号)	1億1,216万3千円の増額、予算総額は36億4,308万4千円 国、県、社会保険診療報酬支払基金から交付を受けた介護給付費負担金等が、決算の結果超過となったため、超過額を各機関に返還するための増額補正等
議第47号	平成26年度美濃加茂市水道事業会計未処分利益剰余金の処分	公営企業会計制度の改正に伴い発生した未処分利益剰余金について自己資本に組み入れるもの
議第48号	平成26年度美濃加茂市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	公営企業会計制度の改正に伴い発生した未処分利益剰余金について自己資本に組み入れるもの
議第49号	美濃加茂市固定資産評価審査委員会の委員の選任	任期満了に伴う若山充氏(再任)の選任同意
議第50号	美濃加茂市議会会議規則の一部を改正する規則	市議会における女性参画を拡大するため、出産による欠席を明記する規定を追加する等の規則改正
議第51号	決算特別委員会の設置	特別委員会の設置と委員を選任するもの
認第5号	平成26年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計歳入歳出決算認定	決算額は5ページに掲載
認第6号	平成26年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定	決算額は5ページに掲載
認第7号	平成26年度美濃加茂市山之上財産区会計歳入歳出決算認定	決算額は5ページに掲載
認第8号	平成26年度美濃加茂市水道事業会計決算認定	決算額は5ページに掲載
認第9号	平成26年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定	決算額は5ページに掲載

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名															
			渡辺孝男	酒向信幸	日置祥子	牧田秀憲	坂井知足	村瀬正樹	渡辺益巳	高井厚	佐合広和	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	山田栄	
議第43号	美濃加茂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正により、小規模保育事業A型、B型及び事業所内保育事業の事業所における保育士の配置要件の特例に「准看護師」を追加するため条例改正	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○
議第44号	平成27年度美濃加茂市一般会計補正予算(第3号) 1億1,238万3千円の増額、予算総額は185億699万7千円 ふるさと納税広告掲載等PR業務委託、中山道チャレンジジョブ建設工事などの増額補正	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○
認第1号	平成26年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○
認第2号	平成26年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○
認第3号	平成26年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○
認第4号	平成26年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定	◎	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	○

認第1号から第4号までの決算額は5ページに掲載

決算審査の概要



決算審査の概要

今定例会から「決算特別委員会」は、議長・監査委員を除く全議員とし、決算審査を行いました。予算執行や事業の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、一般会計など9会計の決算が適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。

〈委員長 高井 厚／副委員長 佐合 広和〉

《一般会計》

**問** 地方交付税が前年度より大幅に減少している理由は。

**答** 基準財政需要額の算定基準及び基準財政収入額の法人市民税の税率が変更されたことが主な要因である。

**問** 土木費負担金が前年度より減少している理由は。

**答** 双葉中学校通学路造成工事の負担金が無くなったこと等である。

**問** 定住自立圏事業における顧問弁護士を活用している理由は。

**答** 八百津町を除く加茂管内の町村と共同で運営しており、市の財政負担も軽減されている。管内からの相談件数も多く有効活用できている。

**問** ホームページリニューアル業務委託の詳細は。

**答** リニューアルにあたり新システムの構築等に要した費用である。委託契約は維持管理を含めたものではないため、システムの細かな修正等は職員が随時行っている。

**問** オリジナルナンバープレートの作成枚数とその交付状況は。

**答** 2,500枚作成したが、交付状況は先月末時点で230枚ほどで

ある。従来のナンバープレートから無料で交換可能であるため、引き続きPRしていく。

**問** 選挙費の自動車等借上料について、利用したタクシーの内訳は。

**答** 旧投票所から新投票所までの移送のために配置したものと、投票箱を開票所へ送致するために配置したものである。

**問** 成年後見制度利用支援事業について、利用件数と対応の状況は。

**答** 対象となりうる1件の診断書を取得したのみである。

対応については、地域包括支援センターの社会福祉士の資格を持つ職員が適切に支援をしている。

**問** カナリヤの家の利用料が現在は無料となっているが、今後の方針は。

**答** 制度導入前のかたちを継続して無料としているが、民間の施設との公平性を考慮し、今後検討していきたい。

**問** 狂犬病予防注射の接種率が、前年度より下がっているが対策は。

**答** 集合注射を引き続き実施し、未接種の飼い主への啓発を行っている。

**問** 青年就農給付金事業の実績、市としての長期的な支援体制は。

**答** 事業で4名が就農し、梨、イチゴ、小松菜などを栽培されている。5年間に期限に自立する制度であるため、その後は他の補助制度を活用するなど継続していただきたい。

**問** 経営戦略事業の報償費に不用額が生じた理由は。

**答** 当初の予定では、市民と職員が共同で地域の良さを発掘していく事業を計画していたが、年度途中に、姫Biz事業へ切り替えを行ったためである。

**問** 緊急工事委託事業の内容は。

**答** 舗装の陥没など緊急性の高い小規模な工事を対象とし、樹木の伐採や、のり面の修繕なども行うものである。

**問** 建築物耐震化促進事業の申請件数が少なかったことへの対策は。

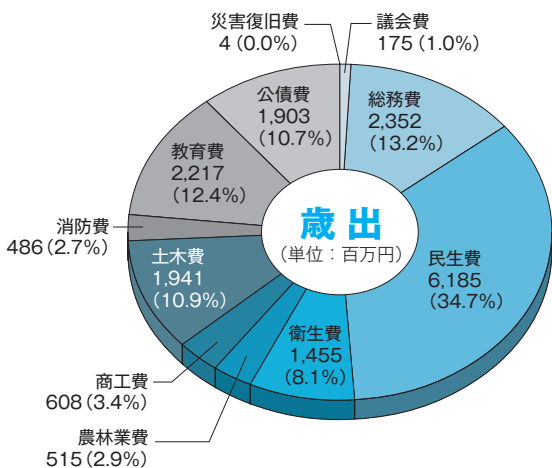
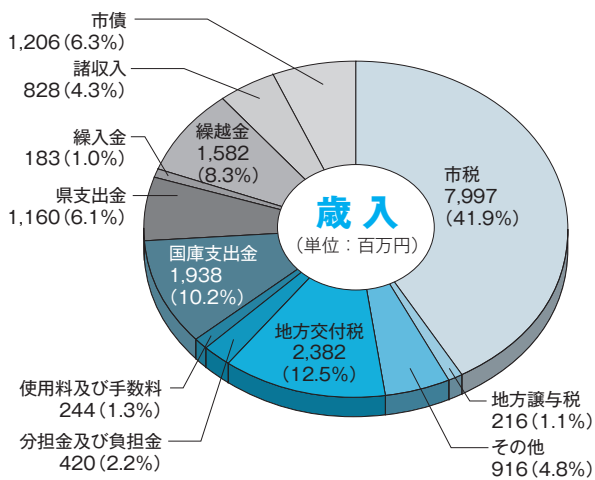
**答** 対象者が経済的に実施できなかったケースもあった。戸別訪問しPRを行うなど、引き続き周知に努めていきたい。

**問** 英語教育推進事業で専任英語教師(ネイティブスピーカー)を導入した効果は。

**答** 子どもたちが、主体的に英語を

決算審査の概要

平成26年度  
一般会計の決算状況



平成26年度歳入歳出決算額

一般会計		財産区会計	
歳入	190億7,179万7,498円	古井財産区	
歳出	178億4,084万2,821円	歳入	173万2,249円
		歳出	129万2,370円
国民健康保険会計		山之上財産区	
歳入	54億5020万8847円	歳入	116万5,677円
歳出	53億3571万8829円	歳出	72万1,840円
介護保険会計		水道事業会計	
保険事業勘定		収益的収支	
歳入	34億 226万2,577円	収入	15億4,864万3,843円
歳出	32億7,174万 690円	支出	13億5,493万 348円
介護サービス事業勘定		資本的収支	
歳入	1,324万1,880円	収入	1億5,341万7,955円
歳出	1,324万1,880円	支出	8億 939万 305円
後期高齢者医療会計		下水道事業会計	
歳入	5億 826万2,908円	収益的収支	
歳出	4億7,581万8,124円	収入	23億4,849万5,088円
介護認定・障がい者自立支援認定審査会計		支出	23億 387万1,664円
歳入	3,747万4,059円	資本的収支	
歳出	3,741万2,943円	収入	7億8,149万 401円
		支出	13億8,166万8,628円

話すようになり、英語への関心が高まった。

**問** 特色ある学校づくり補助金の活用状況は。

**答** 当市は、県下でも補助金額が多く、有効に活用できるように内容を吟味し各学校が取り組んでいる。

**問** 市債の償還ピークはいつごろになるか。

**答** 一般会計の償還ピークはすでに過ぎている。

企業会計については、平成30年ごろと考えているが、償還時期を平準化できるように計画をすすめて

いる。

《国民健康保険会計》

**問** 収納率が前年度より改善した理由は。

**答** 徴収にあたってのマニュアルを新たに策定し、きめ細やかに対応できるようにしたためである。

**問** ジェネリック医薬品の利用状況と利用促進の取り組みは。

**答** 昨年度の利用率は54.4%であった。促進は、チラシ配布のほか窓口で啓発に努めている。

《介護保険会計》

**問** 納付困難な場合の対応状況は。

**答** 納付相談のほか、他課とも連携し対応している。

**問** 介護支援ボランティア事業の今後の展開は。

**答** 現在は活動が施設内に限られているが、今後、新総合事業の計画策定の中で検討していきたい。

《介護認定・障がい者自立支援認定審査会計》

**問** 認定審査の判定に関するチェック体制は。

**答** 審査会は加茂圏域で共同設置さ

れており、調査員の一時審査を事務局職員が事前チェックしている。その後、認定審査会で審査する体制となっている。

《下水道事業会計》

**問** 不納欠損額が前年度に比べ大きく減少しているが、どのような対策を講じたのか。

**答** 財産調査、債務承認、差し押さえ等、滞納処分を強化した。

**問** 蜂屋川クリーンセンターの建設が中止となったが、今後の方針は。

**答** 汚泥の減量化について研究を進めることで対応していきたい。

委 員 会 審 査 の 概 要

# 委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

## 文教民生常任委員会

《家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部を改正する条例》

《条例改正による市内保育園への影響は。》

〔答〕 小規模保育事業についての改正であり、現在市内には該当する事業所がないため影響はない。

〔問〕 保育士不足への対応は。

〔答〕 保育士免許を持たない人が子育てに参加したい場合、県が推奨する子育て支援研修への参加を支援したい。

《平成27年度 一般会計補正予算》

〔問〕 国民年金事務について、免除申請様式等システム改修の詳細は。

〔答〕 申請書の添付資料の様式変更に対応するためのものである。

〔問〕 インフルエンザ予防接種の予算要求人数の算定根拠は。

〔答〕 平成26年度の接種率は57.8%（6,713人）、平成25年度は57.2%（6,644人）であったことから、

6,800人分の予算を計上した。

〔問〕 高齢者のインフルエンザワクチン接種助成についての考えは。

〔答〕 1回の接種で効果があり、自己負担は去年と同様1,500円を予定している。

〔問〕 小学校の改修工事の内容は。

〔答〕 古井小学校は、ワークスペースを普通教室2クラスへ、またパソコン教室を特別支援学級と少人数対応ができる教室に改修する。

加茂野小学校は、パソコン教室を普通教室2クラスに改修する。

〔問〕 タブレット型端末の導入数は。

〔答〕 各学校に40台と教師分3台である。

今後は、各学校の児童生徒数に応じてタブレット型端末の追加も検討したい。

## 企画建設常任委員会

《収入印紙等購買基金条例》

〔問〕 販売開始の時期は。

〔答〕 11月2日から販売開始の予定である。市民への周知として広報みのかも11月号に掲載の予定である。

窓口では、収入証紙、収入印紙と併せて切手も取り扱う。

〔問〕 今後の基金の運用計画は。

〔答〕 需要が増えてきた場合は基金を増額することも可能である。状況を判断しながら随時、購入計画を見直していく。

《手数料条例の一部を改正する条例》

〔問〕 個人番号カードの紛失等による個人情報漏えいの対策は。

〔答〕 紛失した場合、なりすまし等による個人情報の悪用が考えられる。しかし、個人番号カードには顔写真がついており、利用の際はパスワードが必要ことから、情報漏えいの危険性は限定的となる。

紛失した場合は、警察に紛失届を提出し、その受付番号を市に届けることで、個人番号カードの利用を無効とすることができる。



市役所1階会計課の窓口にて収入印紙等の取り扱いを開始

《一般会計補正予算》

〔問〕 ふるさと納税返礼品の還元率拡大の考えは。

〔答〕 謝礼品とのバランスをとりながら、十分検討したい。

〔問〕 鳥獣被害防止対策について、柵の設置状況と、わなの貸し出し状況は。

〔答〕 被害の大きい地区を対象に、ネット柵設置やバッファゾーン設置を行っている。

〔問〕 被害の大きい地区を対象に、ネット柵設置やバッファゾーン設置を行っている。

委員 会 審 査 の 概 要

小動物用のわなについては、約50台を市が貸し出しており、5月から7月までは多くの需要がある。

**問** 苗木生産施設等導入事業で導入しているコンテナ苗の利点は。

**答** 土がついたままの苗を植えつけることができる。これにより生産性と定着率の向上を図ることができ

**問** 里山ビジネスモデル構築事業の委託先と委託内容は。

**答** 可茂森林組合に一括委託する予定で、委託内容は資源量の調査、製品化と販路の調査である。

**問** クラウドファンディング(インターネットを活用し、資金調達する仕組み)のライセンス使用料の詳細は。

**答** 事業運用にあたっての、サイト運営会社との契約費用である。今回は半年分を補正予算に計上している。契約は単年度とし、実施期間は地方創生総合戦略計画に合わせ5年を予定している。

**問** 姫Biz事業に関する予算要求の経緯は。

**答** 当初予算では、空き家を活用する前提で事業予算を計上したが、地元でもなかなか空き家が借りられない

い状況となった。

住民に事業の理解を得るには、実際の事業を見せる必要がある、チャレンジショップ建設費を、補正予算要求した。

なお、国の補助を見込んでいるが、補助が決定されなかったとしても、この事業は実施する考えである。

**問** かわまちづくり事業での空き家活用との関連は。

**答** 同事業で、まちづくり会社を設立して空き家対策を含めた事業の展開を目指したが、まだ設立に至っていない。

姫Biz事業と融合し事業を進めることとしたため、かわまちづくり事業では、空き家対策を行わない予定である。

**問** 地元の理解はどのような状況にあるか。

**答** 地元の地主等に、事業を理解をいただき、借地の了解が得られるなど、徐々に今までの状況から変わってきている。

**問** チャレンジショップの建設と運営の計画は。

**答** チャレンジショップの借地は、市が地主と契約して市が借地料を支払い、来年度以降も同様である。借地料の一部は、出店者の家賃に

よって補填され、光熱水費は出店者が負担する。

**問** 出店後の経営の指導、支援は。

**答** 姫Biz事業委託先のアドバイザーが行っていく。出店者は、3年間で経営のノウハウを学ぶことができ、地元の顧客も確保できる。

**問** 出店希望者の選定方法は。

**答** 市指定金融機関である大垣共立銀行美濃加茂支店長、商工会議所のアドバイザー等に協力いただき出店者の選定について平等性を担保する。

**問** 今後の事業の進め方は。

**答** 議会、関係団体、地元、市の4者が結束しなければ成功しないと考えている。議会への情報提供に努め事業を進めていきたい。

※委員会において、附帯決議を付することを決定。(決議内容) 容は左欄)

**問** 加茂川の河川除草をさらに上流まで実施する考えは。

**答** 県から市が受託している事業であるため、今後、県に対して除草範囲の拡大を要望していく。ただし、交通安全等に支障がある箇所は至急実施していきたい。

附 帯 決 議

議第44号 平成27年度美濃加茂市一般会計補正予算(第3号)中、姫Bizチャレンジショップを建設するための予算に関して下記のとおり決議を付する。

記

姫街道・姫Biz事業を推進し、歴史ある旧中山道太田宿を時代に合ったまちづくりとして進められることは賛成するものである。

しかし、市は、議会、事業委託法人及び地元団体等との情報共有と連携が図られていないことから、早急に改善を図り事業遂行に万全を期するようにされたい。

また、地方創生先行型交付金が交付されなかった場合、チャレンジショップ建設は議会と十分協議されたい。

以上決議する。

平成27年9月25日

企画建設常任委員会

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁

# 市政一般に対する質問と答弁

14人の議員が登壇し、市政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。

## 市長の政治姿勢

**問** 第一審判決での「捜査当局が業者から供述を引き出すために取引した事実はうかがえない」という結論の感想は。

**答** あらゆる証拠をもとに下された判決であると考えます。真実がさらに明らかになると信じ、公判を見守っていききたい。

**問** 安全保障関連法案に賛成の意を表明する意思があるか。

**答** 従来 of 憲法解釈を変更するものであるため、さらに国民的議論を尽くす必要がある。前定例会で市議会から国へ提出された「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」を尊重していきたいと考えている。

**問** 核のゴミ処理問題について、瑞浪超深地層研究所が市の近くにあり不安を抱いているが、市長の見

**解は。**  
**答** 今後も県や瑞浪市及び近隣自治体から情報を収集し、市長会等なかでも十分に議論を積み重ね、皆様が不安を抱かれることがないよう対応していく。

## 地方創生

**問** 地方創生の「地方人口ビジョン」と「総合戦略」の策定の現状は。

**答** 人口減少問題に特化した計画を策定することになっている。期間については、人口ビジョンは原則として2060年までの45年間、総合戦略計画は今年から5年間となっている。

策定にあたり、すでに若年層を中心にワークショップ等で意見をもとらっており、平成28年1月末ごろ公表できるように進めている。

**問** 計画を策定するうえで、見えて

きたものは。

**答** 人口減少問題は、自然動態出生数・死亡）が大きな影響を及ぼすことが分かった。

そのために、若年女性人口、一般的な出産適齢期である若年女性を主な対象として、総合戦略計画を策定していく。

## 諸施策

**問** 「新しい公共」に関する取り組みは。

**答** 一例として、「みのかもつながらる力創造事業」で、民間団体が提案し運営主体となる事業に対して、予算面、運営面でサポートしている。

**問** 定住自立圏事業の第2次共生ビジョンで、イベントの開催が多くみられるが、どのような効果を期待しているか。

**答** 8月に開催した野外音楽フェスティバルは、交流人口の増加を目指したものであった。

今後も同様に加茂圏域で開催する予定であり、今回は事業のよいモデルケースとなった。



8月8日に八百津町と美濃加茂市で行われた野外音楽フェスティバル「RAINBOW CHILD2020」(日本昭和村会場)



**問** 女性活躍推進法に対する考え、市役所としての対応は。

**答** 効果的な取り組み内容などについて、数値目標を含めた特定事業主行動計画を策定したい。

女性が働きやすい職場環境を整備し、家庭生活や子育てと仕事との両立を図るための各種制度の活用推進に努めていきたい。

**問** 市職員の仕事に対するモチベーションは。

**答** 職員自身のワークライフバランスを重視しながら、再任用職員の活用などを含めた適切な職員配置に努める。

また、風通しの良い職場を目指し、職場風土改革に向けた取り組みを検討していきたい。

## 教 育

**問** 小中学校での、いじめの実態と防止策は。

**答** いじめの認知件数は、近年減少傾向にある。また、中学校よりも小学校に多い傾向がある。

現在、体制づくりを進めるとともに、いじめ防止の条例化を進めている。

また、市内全ての小中学校で「ハイパーQ.Uテスト」の実施、地域学校サポートチーム合同会議や、いじめ対策スーパーバイザーの設置などにも取り組んでいる。

**問** 総合教育会議における大綱と、フロム0歳アクションプラン（教育振興基本計画）との関係は。

**答** プランは、今後の方針と施策を明確にしておくために作られた計画である。

主に義務教育を対象としているが、直接的には関わらなくても、プランを実現するうえで大切な施策については、関連施策として取り扱う。

**問** 教育憲章の制定が必要と考える

がどうか。

**答** 仮に市長が交代した場合であっても、教育委員会が対等な執行機関として協議をするので政治的な中立性は保たれる。

よって、新たに教育憲章を制定することは考えていない。

**問** 不審者の学校敷地内侵入への対策は。

**答** ホイッスルやハンドスピーカーで周囲へ注意喚起を促したり、職員室に「さすまた」を設置したりするなどの対策を行っている。

今後は、部外者が容易に入れないよう学校敷地周囲をフェンスで囲う等、学校敷地内への不審者侵入対策を進めていく。

**問** 学校敷地内での犬猫のふん害や樹木落葉の対策は。

**答** 砂場使用前に点検を行っている。異常があれば関係部署と連携を取って対応する。

樹木の落葉については、計画的に剪定や伐採を行いながら適正管理に努める。

**問** 夏季休業の意義や必要性をどうとらえているか。

**答** 生活や学びの場を家庭や地域社会に移すため、地域の行事への参加や、1家庭1ボランティアなどの取



第1回総合教育会議の様子(8月21日)

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁

り組みの推進を図ることが大切と考  
えている。

また、今後は生活指導や学習指導  
をねらいとした懇談や指導時間の位  
置づけを考えていきたい。

**問** 夏季休業前に通知や指導で重点  
に置いたことは。

**答** 長期休暇を境に心が不安定にな  
ることが多いという国の調査結果を  
踏まえ、児童生徒の心に寄り添う生  
徒指導の一層の充実を通知し、指導  
した。

また、全国的にインターネットに  
起因した犯罪が発生しているため、  
児童や保護者に対し利用に関する指  
導を行った。

**問** 子どもたちの未来を見据えた指  
導を。

**答** 富加町と市内の全小中学校の  
リーダーたちの参加による「小中学  
生サミット」を実施し、自分たちの  
学校生活を見つめ、考え合う交流会  
を持った。

また、教育センターでは小中学校  
教員による「一研究相談会」を実施  
し、発展的な学習の指導を行った。

ほかに、リーダー育成や未来を志  
向した事業を実施、市についての理  
解を深め、郷土愛を育むことを目的  
にした「ふるさと検定」の作成も進め  
ている。

**問** 多子世帯の給食費無料化を実施  
の考えは。

**答** 児童生徒の保護者に負担するこ  
とが適切であると考えているため実  
施は考えていない。

なお、生活に困窮している家庭に  
は就学援助によるサポートを実施し  
ている。

**問** 通学路の安全について、地域住  
民との連携は。

**答** 交通安全指導員やスクールサ  
ポーターが交差点等に立って活動に  
取り組んでいる。

地域住民の方々にも、児童生徒の  
見守りや、自動車の安全運転に努め  
ていただいている。

マイナンバー制度  
個人情報管理

**問** 制度開始に向けて、市民への周  
知状況は。

**答** ホームページや広報で制度の概  
要や今後の流れなどを掲載している。  
今後も、ケーブルテレビやFMら  
ら等で周知を行っていく。

**問** 個人情報の流出、悪用などの懸  
念があるが対応策は。

**答** 住民情報や税情報などの個人情  
報を取り扱う基幹系ネットワーク  
と、インターネットなどがつながっ  
ている情報系ネットワークの切り離  
しを制度施行前に行う。  
これは、回線を分離することで個  
人情報は流出させないという出口対  
策を徹底するものである。

**問** 通知カードと個人番号カードの  
発行枚数は。また、個人番号カー  
ドの受け取り方法は。

**答** 通知カードは、約55,000  
枚、個人番号カードは、1,000  
枚を予定している。  
受け取り方法は、市役所窓口での  
交付を予定しているが、柔軟に対応  
していきたい。

**問** 自衛官募集のダイレクトメール  
が市内在住の高校3年生に送付  
されたが、個人情報の提供はど

通知カード(住民票の住所地に簡易書留で送付されます)



個人番号カード(希望者に対して初回無料で交付されます)



# 土砂災害防止法とは

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律



土砂災害(かけ崩れ、土石流、地すべり)から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地抑制等のソフト対策を推進しようとするものです。

**基礎調査の実施**

県が、土砂災害により被害を受けるおそれのある場所の地形や地質、土地の利用状況などを調査します。【県】

県知事は、市町村長の意見を聞いた上で2種類の区域を指定します。【県】

**土砂災害警戒区域** 通称イエローゾーン

＜土砂災害のおそれがある区域＞

**土砂災害特別警戒区域** 通称レッドゾーン

＜建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域＞

土砂災害のおそれのある場所  
が区域指定の対象となります。

**かけ崩れ**

※傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象



**土石流**

※山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体となって流下する自然現象



**地滑り**

※土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象又はこれに伴って移動する自然現象



土砂災害特別警戒区域(通称：レッドゾーン)とは…  
土砂崩れにより建物が破壊され、住民に大きな被害が生じる恐れのある区域のこと。市内では北部地域の裏山がある住宅地の多くが指定されている。

## 防災・防犯

のようになってきているか。また、自治会へも同内容の回覧があった理由は。

【答】 自衛隊法の規定に基づく住民基本台帳の一部の写しの閲覧の請求があり、住民基本台帳法に規定する法令で定める事務に該当するものであったため、閲覧を許可した。  
自治会への回覧は、自衛隊法の規定により、都道府県・市町村へ自衛官募集事務を委任されているため行ったものである。

【問】 地域の自主防災活動の中心となる「防災リーダー(防災士)」の育成の取り組みは。

【答】 現在、市内には28名の防災士がいる。平成25年8月から自主防災事業補助金制度のなかに、地域防災リーダー育成事業として、防災士資格取得に要する費用の全額を補助し

ている。  
今後自治会長や災害協力隊などに紹介し、防災リーダーの育成を図っていききたい。

【問】 土砂災害特別警戒区域に住んでいる人が、新築や増改築が出来る環境づくりを。

【答】 該当区域内で住宅の新築等を行う際の補助金の交付制度を設けている。引き続き、制度を継続し周知していく。

【問】 防犯の取り組み状況は。

【答】 昨今の状況から防犯カメラの設置を検討している。

加茂警察署と協議し、抑止効果なども考えながら効果的な場所に計画的に設置したい。

【問】 関係機関との協働体制は。

【答】 地域安全指導員、加茂警察署と市で、自転車2重ロック、車上狙い、振り込め詐欺の啓発を実施した。また、地域安全指導員、自治会や自警団の協力を得て、防犯のぼり旗を地域に設置し啓発を行っている。

## 税・料等

【問】 税・国民健康保険料などの滞納状況は。

【答】 平成22年度から市税等特別滞納整理対策本部を設置し市債権の回収に取り組んでいる。  
担当職員のプロジェクトチームで情報共有し、滞納者との交渉窓口を一本化し収納率の向上に努めている。

滞納繰越分の未収額は年々減少しており、今後も負担の公平・公正を念頭に収納業務を推進していく。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁

**問** 収納率向上に取り組んでいるが、各14債権の状況をグラフ化し、公開してはどうか。

**答** ホームページ等に掲載し、市民へ周知していく。

**問** 国民健康保険料の現状と、今後の運営方針は。

**答** 医療給付費は毎年増加している。今後でもできる限り現行の保険料率を維持したいが、そのために、医療給付費の増加を抑えることが重要である。

引き続き、特定健診受診の啓発など予防事業に取り組み、財政面では、財政調整基金の活用を基本として運営に努める。

**問** ふるさと納税の受け入れ状況は。また、返礼品数とその還元率は。

**答** 8月末現在で、1,234件(2,770万円)という状況である。返礼品は市内の特産品など71品目を登録、還元率は概ね4割程度となっている。

**問** ふるさと納税をしていただいた方などへ、公共サービスを提供する「ふるさと住民票」を発行してはどうか。

**答** 交流人口の拡大や移住の促進、地域活性化の効果が期待できると

考える。導入について検討していきたい。

市広報・ホームページ

**問** 市広報をより多くの市民が活用できるように、市民サークルなどのイベント情報を掲載できないか。

**答** 市が発行する情報紙であり、すべての内容に関する責任は市となる。そのため、今後も現行の掲載基準に従い取り扱っていく。

**問** 夏祭りなどの掲載が一部の地域に偏り過ぎていると思うが、多くの行事を偏りなく掲載できないか。

**答** 市の取り組みに関するものや、事業主体となっている行事などを優先に掲載している。市民主催の行事は、目的や背景などが判断できないため、該当する市の所管部署から依頼があった場合は掲載を検討する。

**問** リニューアルした市ホームページは見づらいとの声を聞く。再度作り直すべきでは。

**答** リニューアル直後は、検索しづ



リニューアルした市ホームページ

らい旨の意見があったが、サイト内検索機能の有効性を案内している。リニューアル後のサイト閲覧数も増加しており、すっきりして見やすくなったとの意見も受けている。また、他自治体から参考に使いたい旨の問い合わせもいただいていることから、一定の理解は得られたものと考えている。

高齢者施策

**問** 今年度から長寿支援センターが3箇所となったが、現在の課題は。

**答** センターのPRを積極的に行い、効果は徐々に出てはいるが、より一層の周知が必要と認識している。

認知症予防講演会(11月6日開催)

今年度から市内3箇所に設置された長寿支援センター



西部長寿支援センター(市役所分庁舎3階)  
担当区域：太田・加茂野小学校区  
電話：0574-24-7370



中部長寿支援センター(田島町1-31)  
担当区域：山手・山之上・蜂屋・伊深・三和小学校区  
電話：0574-49-8591



東部長寿支援センター(下米田町東柵井81-2)  
担当区域：古井・下米田小学校区  
電話：0574-66-1200

など、多くの人が集まる機会を利用して、積極的に広報活動を行っていく。

**問** 同センター運営の今後の方針は。

**答** 直営のセンターを運営する市が統括的な役割を担い、3つのセンターの連携強化、情報共有、研修などを行い全体の機能強化を図っていく。

**問** 介護保険について、保険料の滞納状況、給付制限の状況は。

**答** 滞納者の状況は、平成24年度340人、平成25年度426人、平成26年度393人であった。滞納処分は、昨年度に預金の差し押さえを21件実施、約34万円を徴収した。給付制限は、同3年間で4件実施した。なお、給付制限の内容は、それぞれの滞納期間により異なる。

ひきこもり対策

**問** 市内のひきこもり状況を把握しているか。

**答** 地域包括支援センターの職員や民生児童委員の方から、情報提供を受け、対応しているが、対象は限定されるため、それ以上の把握はできていない。

なお、精神保健福祉士による「こころの相談」での相談は、昨年度41人のべ117件受け付けた。

**問** 取り組み状況と今後の対策は。

**答** 保健師による電話相談や家庭訪問もあるが、更なる周知にむけてホームページに掲載してある窓口機関の情報を充実させ情報共有に努める。

また、小中学校では、平成27年6月中に一日も登校していない児童生徒数が13名あった。

しかし、電話や家庭訪問を行い、自宅に閉じこもりの状態ではないと保護者から聞いている。

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁

保 育

**問** 公立保育園及びカナリヤの家の適切な修繕を。

**答** その都度、施設管理者である保育園長から修繕が必要な箇所の報告を受け、随時こども課が確認し、優先順位を付け修繕を実施している。予算の確保ができ次第、早急に対処していく。

**問** 保育士不足解消に向けての対応は。

**答** 年々3歳未満児の入園が増加してきており、さらに保育士が必要になっていく。しかし、募集を行っても応募者が少ない現状である。引き続き、保育系大学への働きかけや労働環境の改善等を図り、保育士確保に努力していく。

**問** 今年度の保育料算定方法の変更に際しての課題は。

**答** 今年度から子ども・子育て新制度に移行し、保育料の算定方法が変更された。このため保育料が増額となった方から問い合わせをいただき、その都度個別の説明に努めた。次年度以降は、年度当初の保育料算定根拠の周知方法を再検証し、より分かりやすい説明に努める。

環 境 整 備

**問** 自治会要望に対する行政の回答を、より具体的な内容に改善できないか。

**答** 例年同じ項目が挙がっていることも見受けられ、具体的な回答ができない部分もある。地区によっては、要望項目を重点化し絞り込んで具体的な回答を得やすくしているところもある。市としても各連絡所を通じ議論を深め、具体的な回答が可能になるよう努めていく。

**問** 猛暑日や真夏日も多いので、自治会公民館の冷暖房設備の設置のため、コミュニティ補助の拡大を。

**答** エアコンなどの冷暖房器具は、備品の一つとして判断しているため補助対象外としている。ただし、(財)自治総合センターが行っているコミュニティ補助事業では対象とされているので各自治会で検討いただきたい。

**問** 鳥獣被害防止電気柵の市内での設置状況、被害額は。

**答** 市内すべての電気柵の正確な数は把握していないが、確認のできた21箇所については、大きな不備はな

く安全管理に適合している。被害額については、平成25年度は約5,500万円、平成26年度は約5,700万円で年々増加傾向にある。



市内に設置されている電気柵

観 光 ・ 産 業 振 興

**問** 平成記念公園について市としてどのように取り組んでいくのか。

**答** 開園から10年を超えているため、リニューアルも含め改修されるように県へ要望していく。

また、運営団体へも集客に繋がるイベントを企画していただくため、

市 政 一 般 に 対 す る 質 問 と 答 弁



プレミアム商品券販売当日の様子(文化会館)



現在の可茂聖苑

市としても里山千年構想とタイアップさせるなど、積極的に地域の振興につながる取り組みを進めていく。

**問** プレミアム商品券について、販売方法・結果の見解と、今後の展開は。

**答** 市民から、「平日の販売で購入できなかった」、「先着順のため早い段階で売り切れてしまった」などの意見をいただいた。今後については、商工会議所から

の要望もあるが、今回の効果の検証を行い、消費喚起が十分に得られる結果になれば継続について検討したい。

新可茂聖苑建設

**問** 新設する施設には式場を設置しない方向とあるが、利便性を考えると設置した方が良いのでは

ないか。  
**答** 現在の利用状況や近隣施設の動向等をみながら、今後の利用傾向を慎重に分析し判断する。

選挙

**問** 選挙権年齢の引下げに伴う若年層への啓発活動は。  
**答** 政治参加の副教材の配布・出前講座・インターネットを利用した啓発をしていく。

**問** 選挙関連経費の削減のため、職員の手当を代休振替にすることや、選挙運動ポスター作製費の公費負担を縮小する考えは。  
**答** 期日前投票の更なる拡大を考えており、選挙事務の効率化を図ることで代休振替は考えていない。公費負担については、公職選挙法施行令で上限額を定められているため縮減する考えはない。

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方から寄せられたご感想を掲載します。

今日は最終日、議案審議が行われました。これまでの日程で、市民の皆さんから出された多くの要望が議員の方の一般質問として提出され、行政側との厳しい質疑応答を経て、いま目の前で、その議案が一つ一つ可決され市が行うべき事柄が決まっています。

車に例えると、市議会は、車が走り続けるための新たな燃料に似ている。精製された高品質な燃料で美濃加茂号の両輪をフル回転させ再び動き出す。山あり谷あり平地あり。川瀬も、曲がりくねった道さえもぐんぐん走る。願いを乗せ、市民の皆さんのところまで幸せを届けます。

〈市内蜂屋町 73歳(男性)〉

# 活動 ピックアップ

## 予算・決算審査の充実を目指し行政視察

議会改革特別委員会の呼びかけで全議員が参加し、9月29日に石川県かほく市議会へ行政視察を行いました。

議会による事務事業評価を通して、予算や決算の審議を深めたり執行部に提言したりする取り組みについて、かほく市議会の議長以下7名の議員及び議会事務局職員と積極的に意見交換を行いました。

美濃加茂市議会においても、予算・決算審査のさらなる充実を引き続き取り組んでいきます。



かほく市議会の皆様



説明を受ける美濃加茂市議会議員

8月												9月																																						
18日	13日	7日	9月			2日	31日	28日	25日	21日	20日	18日	17日	11日	5日	4日	2日	1日	18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日														
共同募金会美濃加茂市支会理事会 市社会福祉協議会理事会	J Aめぐみの太田支店竣工式	中濃俳句大会	加茂野交流センター安全祈願祭	地方創生にかかるとの意見交換会 執行部との意見交換会	市議会第3回定例会(〜25日) 議会だより編集委員会	議会運営委員会	高山本線強化促進同盟会 定期総会(下呂市)	あじさい小中学生サミット2015	岐阜県期成同盟会定期総会(中津川市)	リニア中央新幹線建設促進	四線促進期成同盟会総会(可児市)	市緑化推進協議会	岐阜県国保運営協議会 会長連絡協議会(岐阜市)	まちづくり特別委員会	議会改革特別委員会	強化推進同盟会定期総会 (下呂市)	国道41号美濃加茂・下呂間 (各務原市)	木曾川右岸流域下水道施設利用組合総会 (八百津町)	岐阜県消防操法大会(海津市)	議会運営委員会	八百津町合併60周年記念式典 (八百津町)	あじさいまつり写真コンクール 表彰式	市スポーツ少年団大会	おん祭MINOKAMO2015 夏の陣	おん祭MINOKAMO2015	市高齢者施策運営協議会	みのかも健康の森開園20周年式典	ぎふ清流文化プラザ オープニングセレモニー	中蜂屋土地区画整理組合解散式	議会改革特別委員会行政視察 (石川県かほく市)	議会運営委員会	議会だより編集委員会	市戦没者追悼式	戦後70年折念 美濃加茂市平和講演会	議会だより編集委員会	全国育樹祭懇談会(岐阜市)	全国育樹祭(揖斐川町)	おん祭MINOKAMO2015 秋の陣	市議会第2回臨時会	議会だより編集委員会	美濃加茂市防災会議	東海市議会理事会研修会(可児市)	市文芸表彰式	市社会福祉大会	市文芸祭	市防災訓練	文教民生常任委員会協議会	企画建設常任委員会協議会	県社会福祉大会(岐阜市)	市健寿連合会福祉大会

議 会 日 誌  
(主なもの)



平成27年

第2回

臨時会

## 議会の新体制決まる

10月20日に、市議会第2回臨時会を会期1日として開催しました。  
補正予算の審議、正副議長の選挙、監査委員の選任、各常任委員会委員の選任などを行い閉会しました。  
議案の詳細は下記のとおりです。

## 議案等の審議結果

議案番号	議案名	主な内容	結果
議第52号	平成27年度美濃加茂市一般会計補正予算(第4号)	5,038万3千円の増額、予算総額は185億5,738万円 障がい者福祉施設の整備に対する補助金などの増額補正	原案可決(全会一致)
議第53号	議長辞職の件	議長の辞職を許可するもの	許可(全会一致)
選第1号	議長の選挙	議長辞職に伴う選挙	山田 栄議員 当選
議第54号	副議長辞職の件	副議長の辞職を許可するもの	許可(全会一致)
選第2号	副議長の選挙	副議長辞職に伴う選挙	佐合広和議員 当選
議第55号	監査委員の選任について	監査委員の辞職に伴い、新たに 森 弓子議員を選任することの同意	原案同意(全会一致)
選第3号	美濃加茂市・富加町中学校組合議会議員の選挙	組合議会議員の辞職に伴う選挙	山田 栄議員、佐合広和議員 当選

## 委員会の構成

第2回臨時会において、委員会の構成が下記のとおり変更されました。



### 文教民生常任委員会

委員長 金井 文敏(前列中央)  
副委員長 高井 厚(前列左)  
(前列右) 佐合 広和  
(後列左から) 日置 祥子 渡辺 孝男 牧田 秀憲  
坂井 知足 森 弓子



### 企画建設常任委員会

委員長 村瀬 正樹(前列中央)  
副委員長 酒向 信幸(前列左)  
(前列右) 前田 孝  
(後列左から) 柘植 宏一 山田 栄 渡辺 益巳  
片桐 美良



### 議会運営委員会

委員長 渡辺 益巳(前列中央)  
副委員長 牧田 秀憲(前列左)  
(前列右) 森 弓子  
(後列左から) 酒向 信幸 前田 孝 片桐 美良

# インターネットによる本会議の録画映像の配信を始めました!

美濃加茂市議会では、多くの皆様の本会議の様子をご覧いただくため、今定例会から録画映像のインターネット配信を開始しました。

パソコン、スマートフォンやタブレット端末でお気軽にご視聴ください。



## ■視聴方法

インターネットで市議会のホームページ (<http://gikai.city.minokamo.gifu.jp>) にアクセスし、画面中央の「市議会映像配信開始」(青色のバナー)からご覧いただけます。(本会議終了後、およそ7~10日後に配信します。)

## ■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/>

## 議員在職20年以上特別表彰

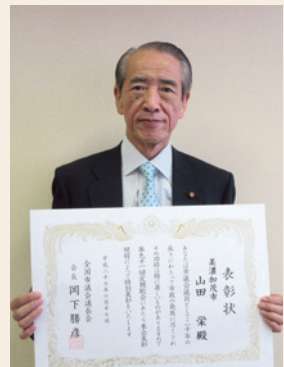
平成27年度全国市議会議長会、東海市議会議長会総会において、議員在職20年の特別表彰が行われ、9月2日に議長から表彰状の伝達を行いました。

**山田 栄 議員 (議員歴：平成6年10月～現在)**

### 《本人コメント》

これもひとえに市民の皆様をはじめ多くの方々のご支援とご指導によりいただいたものであり、改めて感謝申し上げます。

初心を忘れず今後も市民の代表として「誰もが住みたいまち・住んでよかったまち・誇れるまち」をめざし、市政発展のため市議会議員のひとりとして活動してまいります。



## 編集後記

市民の皆様が開かれた議会を目指し議会改革に努めています。9月定例会から本会議の様態をインターネットで録画配信しています。また、今定例会は、昨年度の決算を議員全員で審査し、新年度に想いを寄せた熱心な審査となり、実り多き秋となりました。

国の進める地方創生に向けた取り組みも始まり、孫子の代まで住み続けることができる地域づくりに向け、市民の皆様と共に取り組んでまいります。

議会だより編集委員会一同

## 傍聴にお越しください

次の定例会の予定  
平成27年市議会第4回定例会

11月27日(金)	初日
12月7日(月)	一般質問
8日(火)	一般質問
9日(水)	質疑
18日(金)	最終日

※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

今後の議会だよりは、平成28年2月1日を予定しています。

ご意見ご感想は、はがき、ファックス、メール([gikaigoiken@city.minokamo.lg.jp](mailto:gikaigoiken@city.minokamo.lg.jp))にてお寄せください。